

2024年3月25日

株式会社ソリトンシステムズ  
パナソニック コネクト株式会社

## パナソニック コネクトの世界最高水準の顔認証技術と、 ソリトンシステムズの多要素認証サービス「Soliton OneGate」が連携

～生体情報を用いた確実なユーザー認証で、ゼロトラスト実現を強力にサポート～

顔情報を使った多要素認証で、デスクトップやクラウドサービスへセキュアログイン



OneGate の認証イメージ

株式会社ソリトンシステムズ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鎌田理、以下「ソリトンシステムズ」）と、パナソニック コネクト株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 執行役員 プレジデント・CEO：樋口 泰行、以下「パナソニック コネクト」）は、ソリトンシステムズの多要素認証サービスである「Soliton OneGate（ソリトン ワンゲート）、以下 OneGate」とパナソニック コネクトの顔認証クラウドサービス「KPAS（ケイパス）クラウド」を連携し、2024年5月より販売開始します。

ソリトンシステムズは、様々なクラウドサービス利用時に、デジタル証明書 + FIDO2 / スマホ認証 / パスワードによる多要素認証（MFA）を手早く適用できる多要素認証サービス「OneGate」を提供しており、この度パナソニック コネクトの世界最高水準の顔認証技術※<sup>1</sup>による認証機能を追加し、さらに厳格で安全なユーザー認証を実現します。

なお、安全かつ便利な顔認証の、より幅広いビジネスシーンでの活用を目指す両社の共創は、2022年12月にパナソニック コネクトの顔認証技術を搭載した PC ログオンソフト「SmartOn」に次ぐ、『第二弾』となります。

〇プレスリリース（2022年12月7日）：「最高水準の顔認証技術をPCログオンソフト「SmartOn」に搭載」  
<https://www.soliton.co.jp/news/2022/005158.html>

2018年に、内閣官房IT総合戦略室より「クラウド・バイ・デフォルト原則」の方針<sup>※2</sup>が打ち出されるなど、国内でも少しずつ進んでいたクラウドシフトが、近年、コロナ禍を経て一気に加速しました。2021年9月にはデジタル庁が発足し、それを皮切りにガバメントクラウドの整備推進<sup>※3</sup>、文教市場では校務DX・NEXT GIGA、さらに民間でも製造・金融・運輸・建設などあらゆる業界でDXが急速に進んでおり、業務関連システムのデジタル化・DXに伴うクラウドサービスの活用拡大は、ますます活発化していくと見られています。

一方で、クラウドサービスの導入が進むほど、社内環境と社外環境の垣根がなくなり、ITセキュリティにおいて長らくスタンダードであった“境界型防御”の意味合いは薄れています。社内LANを守るだけでは、不正アクセスや情報漏えいのリスクに対応しきれなくなっていることから、現在では社内・社外を問わず、あらゆる場所からのあらゆる情報へのアクセスを検証し制御する、いわゆる“ゼロトラスト”の考え方に基づいたセキュリティ対策が主流となりつつあります。

このゼロトラスト環境の実現においては、その初めのステップとして、複数の認証を組み合わせるユーザーやデバイスを検証する『多要素認証の導入』が有効とされています。Microsoft 365やSalesforceといった主要なクラウドサービスも、多要素認証を行ったうえで利用を前提とするよう呼び掛けており、多くの企業・団体で、多要素認証の仕組みの導入が加速しています。

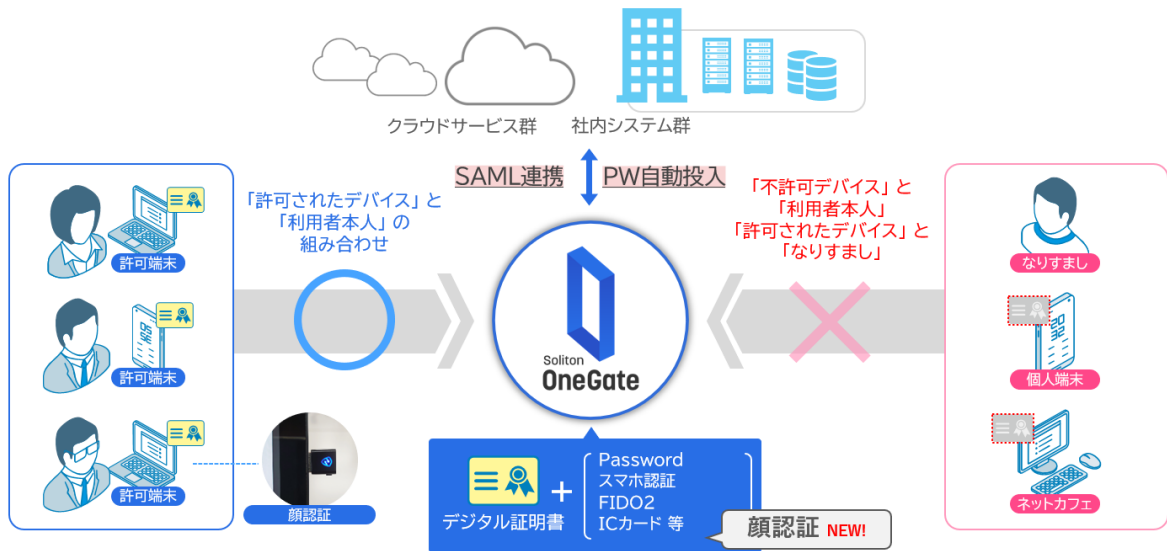
このような状況を受けて両社は、空港や医療機関など高いセキュリティが求められる場面で多く活用されている、パナソニック コネクトの世界最高水準の技術を応用した顔認証クラウドサービス「KPAS クラウド」を、公共・民間を問わず幅広く市場展開している、ソリトンシステムズの多要素認証サービス「OneGate」に、生体認証オプションとして連携させました。非常に確かな本人確認技術を、扱いやすく汎用性の高いクラウド型の認証サービスの中で提供することで、クラウドシフトやDXを進める企業・団体により大きな安心をもたらす、社会全体へのお役立ちを目指します。

## ■ 共創の取り組みについて

### (1) OneGateの生体認証オプションとして「顔認証」を提供

ID・パスワードだけの認証で業務データにアクセス可能な環境では、なりすましによる情報漏えい事故は簡単に起こってしまいます。特に、漏えい済みの認証情報を悪用したりリモートアクセスやクラウドサービスへの侵入に端を発するサイバー攻撃被害は、後を絶ちません。

OneGateは、多要素認証（MFA）でクラウドやオンプレミスに点在する企業の業務データを不正アクセスから守る、多要素認証サービスです。一部の多要素認証を突破するフィッシングなどへの耐性が高く、デバイスの特定が可能な「デジタル証明書認証」をベースに、さまざまなユーザー認証の仕組みと組み合わせることで統合的な多要素認証環境を実現します。



今回の共創において、確実なデバイスの特定を得意とする OneGate の「デジタル証明書認証」と、確実なユーザーの特定を得意とするパナソニック コネクトの「顔認証」技術を合わせることで、より安全に、適切に、クラウドやオンプレミスにある業務データへのアクセス制御を行うことが可能になります。また Windows や Chromebook をはじめとしたマルチ OS に対応しながら、クラウドサービス型で提供を行うことで、IT 環境が多様化している時代において幅広いお客様に価値をお届けできると考えております。

さらに、この共創による新たな付加価値として、KPAS クラウドと OneGate の ID 管理機能の利点を生かし、オフィスなどにおける『空間 DX』を実現します。例えば、OneGate へのログインに利用している 1 つの顔情報を、オフィス内に設置されている入退管理システムや複合機などの認証にも活用し、同一空間におけるあらゆる本人確認が必要なシーンを「顔認証」で統一することが可能になります。これにより、ユーザーは手ぶらで様々な認証をセキュアに行うことができ、また管理者側も厳格な生体認証を利用した仕組みで統一し、情報資産およびオフィス全体を守ることができます。



## (2)今後の展開

2022年の共創を皮切りに、両社の販売・サービス網を活用し、本人確認のさらなる厳格化や運用性の向上が求められる市場ニーズに対して、豊富なラインアップと高い技術力でお役立ちしてきました。PC ログオンを中心とした認証ソリューションにおいては、2025年に販売25億円の事業とすることを目指してきましたが、継続して目標達成を視野に、販売面でも協力関係を強化していきます。

今回の共創『第二弾』では、安心・安全な顔認証と、運用性の高い多要素認証サービスであるOneGateが連携したことにより、より安全でありながら扱いやすいクラウド認証基盤をお客様に提供することが可能となりました。双方のチャネルを活用しながら、2026年に販売28億円の事業規模を目指してまいります。

また、OneGateと顔認証の連携から広がる、入退室や物理鍵の管理、セキュリティゲートなど、フィジカルセキュリティと組み合わせたトータルソリューションの展開においては、国内全体で加速しているDXの流れを追い風に、新たな価値を広く市場に提供できるよう進めていきます。

今後もソリトンシステムズとパナソニック コネクトは、両社の多様かつ先進的なテクノロジーを活かした価値創出を行うべく、「多要素認証」だけに留まらない共創活動を推進してまいります。

※1 2022年11月6日のNIST (FRVT 1:1) 経年変化評価において、Mugshot (人種・経年変化を含む正面顔データ、他人受入率: 10万分の1) で世界1位を獲得しました。同時に Border (顔向き・照明変動を含むデータ、他人受入率: 10万分の1) で世界4位、KIOSK (下向き・見切れデータ、他人受入率: 10万分の1) でも世界5位にランクインするなど世界最高水準の評価結果を得ております。

※2 デジタル庁「政府情報システムにおけるクラウドサービスの利用 (平成30年7月版)

<https://www.mhlw.go.jp/content/12601000/000342739.pdf>

※3 デジタル庁「ガバメントクラウド」

[https://www.digital.go.jp/policies/gov\\_cloud](https://www.digital.go.jp/policies/gov_cloud)

### ■パナソニック コネクトの顔認証技術について

パナソニック コネクトの顔認証は、40年以上に渡るカメラの画像処理で培った画像を鮮明にする技術と、顔の特徴を学習するディープラーニング技術の応用により、NIST (米国国立標準技術研究所) の顔認証ベンチマークテスト

(NIST FRVT 1:1) において、世界1位<sup>※1</sup>の評価を獲得しました。

顔の向きや経年変化、メガネ・マスクなどにも影響されにくく、快適にご利用いただけます。これまでも空港での厳格かつ円滑な本人確認や、アミューズメントパークでのチケットレス入退場、店舗でのキャッシュレス決済、オフィスでのICカードレス入退室などで、顔認証技術を応用したシステムを展開してきており、1日30万回超の固有の顔認証を達成してきました (パナソニック コネクト調べ)。今後も、世界最高水準の顔認証技術と、現場での使いやすさを追求し、お客様との実証実験を重ねて実現したUXデザインとの融合により、さまざまな現場を安心・安全かつ効率化することに貢献してまいります。

▼パナソニック コネクトの顔認証ソリューションについて

[https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services\\_facial-recognition](https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_facial-recognition)

▼パナソニック コネクトの顔認証クラウドサービス「KPAS (ケイパス) クラウド」について

[https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services\\_facial-recognition-cloud-service](https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services_facial-recognition-cloud-service)

▼パナソニック コネクト「OneGate」製品ページ

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/products-services/onegate/top>

**【株式会社ソリトンシステムズについて】**

設立以来、ソリトンシステムズは IT・エレクトロニクス業界にあって、常に新しい技術トレンドを見据え、いくつもの「日本で初めて」を実現してきました。近年は、認証を中心とした IT セキュリティからサイバー対策製品まで、また、携帯電話回線 4G、5G や Wi-Fi を利用したハイビジョン・レベルの映像伝送システム、リモートドライブなどに取り組んでいます。国産メーカーとして、オリジナルの「もの創り」、「独創」にこだわった製品とサービスを提供しています。

▼株式会社ソリトンシステムズ ホームページ

<https://www.soliton.co.jp/>

▼多要素認証サービス「Soliton OneGate」について

<https://www.soliton.co.jp/lp/onegate/>

**【パナソニック コネクト株式会社について】**

パナソニック コネクト株式会社は 2022 年 4 月 1 日、パナソニックグループの事業会社制への移行に伴い発足した、B2B ソリューションの中核を担う事業会社です。グローバルで約 29,500 名の従業員を擁し、売上高は 1 兆 1,257 億円（2022 年度）を計上しています。「現場から 社会を動かし 未来へつなぐ」をパーパス（企業としての存在意義）として掲げ、製造業 100 年の知見とソフトウェアを組み合わせたソリューションや高度に差別化されたハードウェアの提供を通じて、サプライチェーン、公共サービス、生活インフラ、エンターテインメント分野のお客様をつなぎ、「現場」をイノベーションすることに取り組んでいます。また、人と自然が共存できる豊かな社会・地球の「サステナビリティ」と、一人ひとりが生きがいを感じ、安心安全で幸せに暮らすことができる「ウェルビーイング」の実現を目指しています。

▼パナソニック コネクト株式会社 ホームページ

<https://connect.panasonic.com>

▼パナソニック コネクト Newsroom

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/newsroom>

【報道機関お問合せ先】

株式会社ソリトンシステムズ 広報担当 Email : [press@soliton.co.jp](mailto:press@soliton.co.jp)

パナソニック コネクト株式会社 広報担当 Email : [connect\\_pr@ml.jp.panasonic.com](mailto:connect_pr@ml.jp.panasonic.com)